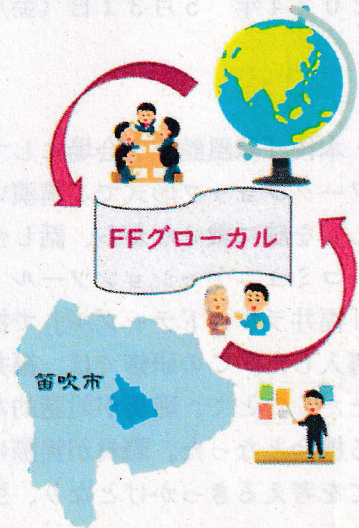


## FFグローバル 学習の流れ



## 文部科学省研究開発学校指定

教科横断STEAM型の新教科「FFグローバル」を設定し、各教科間をつなぎ、教科横断STEAM型の探究カリキュラムを開発し実践します。その際、学校運営協議会と協働体制を構築し、地域社会の課題を探究するカリキュラム開発と検証を行い、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の学習の基礎となる資質・能力、および主体的な学びの育成を目指しております。

## 1学年 FFグローバル

### 金川の森ミニ探究の感想

- ・ ドングリの顔斗が多く見つかり、堅果はあまりなかったことから、ドングリを食べる動物がいることが分かった。
- ・ 上を見上げたとき、木の葉の形や種類の異なるものがたくさん見られた。普段私たちが住んでいるところよりも多くの土壌動物をみつけた。



### 7月4日「苗吹ワークショップ」

1学年全生徒を対象としたワークショップを開催しました。このワークショップには、14名の講師をお招きして、地域の課題とその解決に向けた取り組みについて理解を深めることができました。1学年の生徒は、これからそれぞれの興味・関心に応じた探究テーマを設定し、その解決に向けた取り組みが始まります。



### 苗吹ワークショップの感想

雨宮さんの今までにやっていたことや、行動力がすべての活動の原点となっていること、自分なら何が人のためにできるのかを考えたり自分で判断して進んでいくことが探究活動においてとても大切になるというお話が心に残った。他にも思いさえあればどんなことでもできるという言葉にすごく感銘を受けた。

## 2学年 FFグローバル

設問12 この授業を通じて、あなた自身が最も身についたと感じるGPを一つ選んでください。



習得力: 14.7%  
理解力: 15.3%  
思考力: 26.0%  
表現力: 7.3%  
継続力: 2.7%  
参画力: 16.7%

最も身についたと感じるGPは「思考力」!  
(26.0%)  
次いで「参画力」でした  
(16.7%)

設問9 探究学習を進めるうえで、地域の方との交流は重要だと思いますか

非常に重要 60.5%  
重要 37.5%  
あまり重要ではない 2%  
全く重要ではない 0%

地域との交流が重要だと感じている生徒は  
**90%以上!**



### 2年生 FFグローバルを通じて、変わった・成長したと感じること

- ・ これまで何かと1人でなんとかしようという考えだったがグループでの活動の楽しさを知り、前よりも多少仲間に頼ることが増えたと思う。
- ・ 人の話を聞いてそこからなにか案を出したり、応用して広げたりすることができた。
- ・ 地域の方々と交流をするのは大変で難しいことだと思っていて、少し面倒だと感じていたが、実際に話を聞いてみて面と向かってお話をすることは大切でいい経験になることがわかった。
- ・ これまでは、自分の考えをある程度の人だけにわかってもらえる説明が多かったけれど、FFGの授業を通して、多くの人全員にわかりやすい説明や発表をすることで自分だけでなく他者にも理解されるような言葉で伝えることの大切さについて考えるようになった。

### 2年生 地域メンターから教わったこと

- ・ 自分たちに「ご機嫌力」のことが「0から1」はないことを教えてもらいました。また、食品開発のアドバイスを貰うことが出来ました。例えば「ある物×ある物」という言葉ももらいました。
- ・ バラの講演会を開いてくださりバラについて歴史と種類と食用種等様々なことを教えてもらいました。
- ・ 旅館協同組合の人たちの話を聞く機会を作ってくれた。フォトコンテストの広告を掲載してくれる。自分たちの取り組み内容の改善点を教えてくれた。

## 笛吹高校マシュマロチャレンジ

4月11日、笛吹高校の1年生から3年生まで各クラスでマシュマロチャレンジを実施しました。このチャレンジでは5～6人のグループで協力し、パスタとテープを使って高い塔を作ります。一番高いポイントにマシュマロを刺したチームが勝ちなのですが、マシュマロの重みでうまくはいきません。生徒たちはお互い案を出し合ったり、パスタを支え合ったりしながら、楽しく活動していました。共通の目標があることで会話が弾み、新しいクラスの中でのアイスブレイク・チームビルディングにつながりました。



## 笛吹市「移住定住」促進パンフレット作成協力

昨年のFFグローバルの授業を受けた生徒の中から有志を募り、笛吹市「移住定住」促進パンフレットの作成に協力しました。笛吹市で移住担当をする雨宮様からのご提案で、パンフレットのデザインについてのアイデア出し、FFグローバルで取材した記事の提供、表紙のモデル等様々な形でパンフレットの作成に関わることができ、編集に向けた担当の皆様や、協力する地域の方々の想いに触れる非常に貴重な機会となりました。



## FFグローバル「ももりん自販機プロジェクト」

FFグローバルの授業で、笛吹インターからイエローハットに向かう通りを活性化しようと始まったプロジェクトです。学校運営協議会山本様をメンターにお迎えし、地域の方々との目標の実現に向けて活動を続けています。昨年度末の3月には、「みさかの湯」を会場とした「ぶらっとプチマルシェ」に参加し、地域の方々と交流することができました。



### 地域学校協働活動推進員等 奈良千尋

地元をこよなく愛する大学4年生。

高校2年次より山梨県の地域活性化に向けたボランティア活動を始め、現在は笛吹市でも学生団体を立ち上げ活動中です。母校である笛吹高校の探究活動に関わることができて嬉しく思います。

これまで活動してきた中での繋がりやノウハウを活かし、楽しく！明るく！生徒の皆さんが、地域の方々との協働を果たせるようにサポートします。



### 協働活動リーダー 三枝則子

笛吹市御坂町在中。

普段は本業の傍ら任意団体を設立しボランティア活動をしています。その御縁から、生徒の皆さんに関わらせていただいておりますが、学校と地域の連携や、地域コミュニティを繋ぐ役割の重要性を実感しました。

「地域のこどもは地域で育てる」その為には地域住民と学校が一体となる事も大切だと思います。微力ではありますが、お役に立てるよう頑張ります。



### 協働活動リーダー 井上銀河

地域学校協働活動を通して、地域の高校生の存在がいかに大切が実感しました。高校生が主体となって地域の方と協力し、問題を解決に取り組むことによって様々な視点の改善点やアイデアが生まれ、地域に大きな影響を与えることができる力があると感じました。また高校生のアイデアには今までにはなかった驚きがありました。今後も生徒の力になるようにサポートを行い、地域のために活動することに達成感や楽しさを感じてもらえるように頑張りたいと思います。



次回の発行は12月  
「総合的な探究の時間」  
特集です



笛吹高校  
研究開発係  
QRコード

発行 山梨県立笛吹高等学校  
研究開発係

〒406-0031山梨県笛吹市石和町市部3番地

TEL:055-262-2135/FAX:055-262-6381



# 「地域とともにある学校づくり推進 フォーラム2024」授業見学デー 授業実施報告

研究開発係

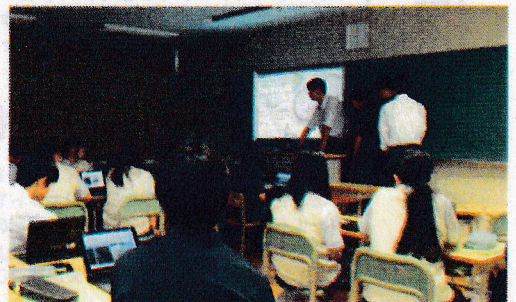
DATE : 12 JULY, 2024

## FFG II 「探究コンペに向けてブラッシュアップしよう」

FFGIIの公開授業が実施されました。

生徒たちは、自分たちが見出した課題を解決する方法についてプレゼンをして、いつもお世話になっているメンターの方々から助言をいただきました。視察には、国会議員赤池様、堀内様、苗吹市長山下様、山梨県教育長降旗様、全国よりおよそ100名の方が来校されました。

授業後には、視察の皆様との意見交換会があり、生徒に向けたご質問やご感想だけでなく、今後の学習に向けたご助言もいただくことができました。



**【異体験】**

【対象】10～15歳の  
【参加の目的】  
PBLを使った授業の実践  
【この体験を通して学ぶ】  
2022年の「10代～20代の教育実践」に登場した「物・モノ・サービス」というテーマから、社会課題が解決したことで10～20代に起こる社会課題をどう解決し、社会に還元できるかを考えること、教育現場でのPBLを使った授業の実践方法を学ぶ、異校とのネットワークを築いて関係を伸ばすことなどが目的です。

※「オンライン体験」  
も実施する計画を立てています。

**5 課題解決の実践**

実践的教材の活用  
→ 実践的教材の活用

実践的教材の活用  
→ 「SchoolM」を活用

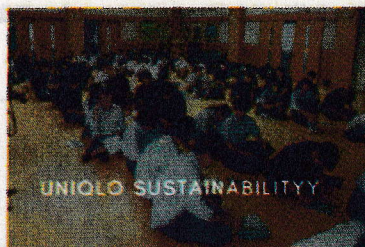
**子どもたちの外遊びの機会を増やすには**  
→ 社会課題の解決を促す

子どもたちの外遊びの機会を増やすために外遊びの楽しさを伝えたいから

今年度は、5クラス35グループがそれぞれ地域の課題を見出しその解決策に向けた取り組みを実施していきます。



## 総合的な探究の時間 「服のチカラプロジェクト」ワークショップ



普通科は、「総合的な探究の時間」で、ファーストリテイリングが、UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに取り組む、小・中・高校生が対象の参加型の学習プログラムに参加しています。7月12日は、ユニクロより講師をお招きし、「"届けよう、服のチカラ"プロジェクト」ワークショップが行われました。